



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） *Nara IDSC*

今週の概要

- 第 25 週の感染症情報
- 奈良県結核患者情報（平成 25 年 5 月）

第 25 週の感染症情報（6 月 17 日（月）～6 月 23 日（日））

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週間からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	2.71	→～↓	→～↓	→～↓	↓
2	手足口病	1.34	↑	↑↑	→	↑
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.57	↓	↓	→～↓	↓
4	咽頭結膜熱	0.51	→	→	→	↓
4	水痘	0.51	↓	→～↓	↓	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数（24→25週）は122→116例に減少した。上位5疾患は、①感染性胃腸炎（44→44例）、②手足口病（20→22例）、③咽頭結膜熱（13→10例）、④水痘（8→9例）、⑤A 群溶連菌咽頭炎（14→8例）眼科定点の報告は流行性角結膜炎が3例あった。基幹定点の報告は無菌性髄膜炎が2例あった。

（有山 記）

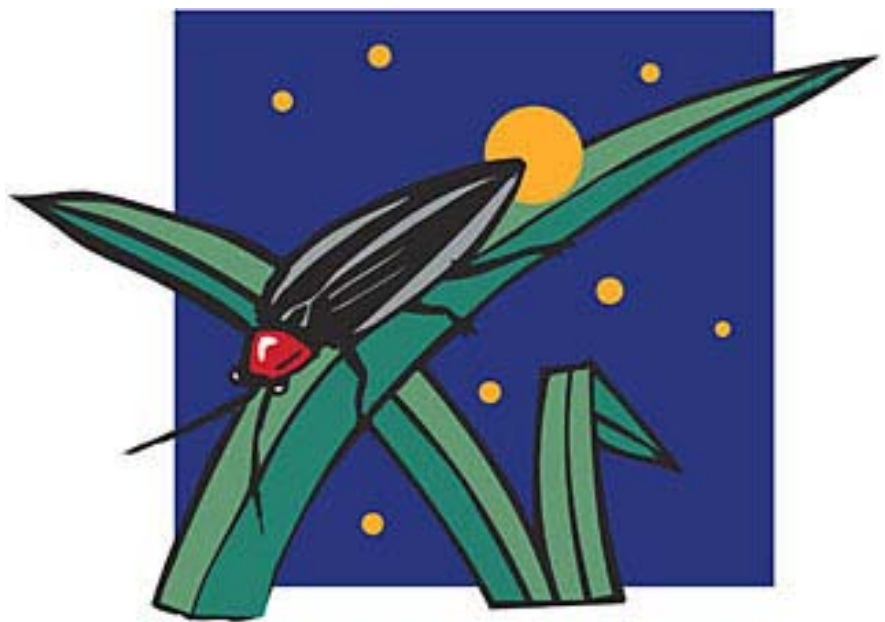
県中部地区概況 報告数は113例で、前週報告の136例から減少。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③A 群溶連菌咽頭炎、④水痘＝突発性発しんの順。手足口病の報告数（22例）は、やや増加。突発性発しんの報告数（9例）も、やや増加。感染性胃腸炎の報告数（47例）は、やや減少。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（10例）も、やや減少。水痘の報告数（9例）も、やや減少。桜井保健所および葛城保健所両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。

（村井 記）

県南部地区概況 報告数（24→25 週）は 29→17 例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（14→4 例）、①ヘルパンギーナ（3→4 例）、③手足口病（6→3 例）、④A 群溶連菌咽頭炎（4→2 例）、④突発性発疹（0→2 例）、⑥咽頭結膜熱（0→1 例）、⑥マイコプラズマ肺炎【基幹定点】（0→1 例）であった。

（柳生 記）

感染症情報センターホームページ <http://www.pref.nara.jp/27874.htm>



【奈良県結核患者情報】

奈良県感染症情報センターでは、結核患者発生動向情報を提供しています。5月の届出状況は、以下のとおりです。

表. 結核届出数（平成25年1月～）

	市町村	5月	総計
北部	奈良市	13	43
	大和郡山市	3	12
	天理市	1	6
	生駒市	2	15
	山添村		
	平群町	1	3
	三郷町		2
	斑鳩町	2	4
	安堵町		2
中部	大和高田市	2	7
	御所市		3
	香芝市		1
	葛城市		2
	上牧町		
	王寺町		1
	広陵町		5
	河合町		2
	橿原市	1	8
	桜井市	3	8
	宇陀市		2
	川西町	3	5
	三宅町		
	田原本町		5
	曽爾村		
	御杖村		
高取町			
明日香村			
南部	吉野町		1
	大淀町		1
	下市町	1	1
	黒滝村		
	天川村		
	下北山村		
	上北山村		1
	川上村		
	東吉野村		
	五條市		1
野迫川村			
十津川村			
合計		32	141

(6月12日現在)

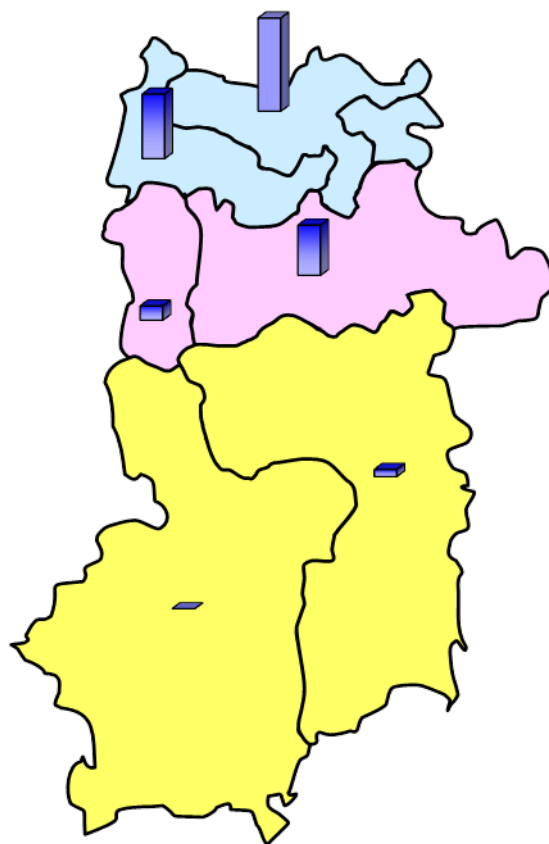


図. 保健所別届出数
(平成25年5月受理分)